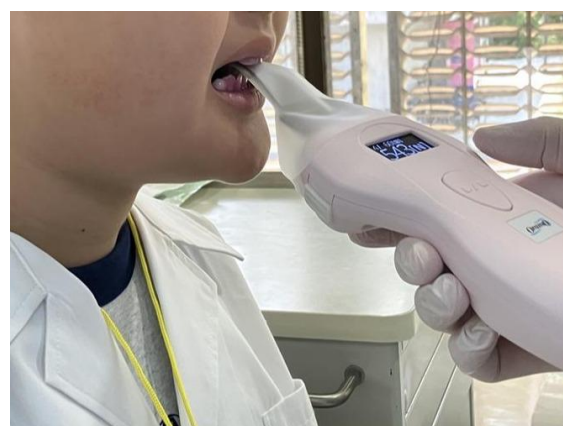


2025 年 10 月 2 日

新開発の歯科用咬合力計「Oramo™2」が 小児学習プログラム「子ども大学にしているま」に初採用 ～全国の教育委員会推進の活動で初活用～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、当社が新たに開発した歯科用咬合力計「Oramo2^{※1}」が、令和 7 年度（2025 年度）「子ども大学にしているま」の学習プログラムに採用されたことをお知らせいたします。教育委員会が推進する活動において、本製品が活用されるのは全国で初めてです。

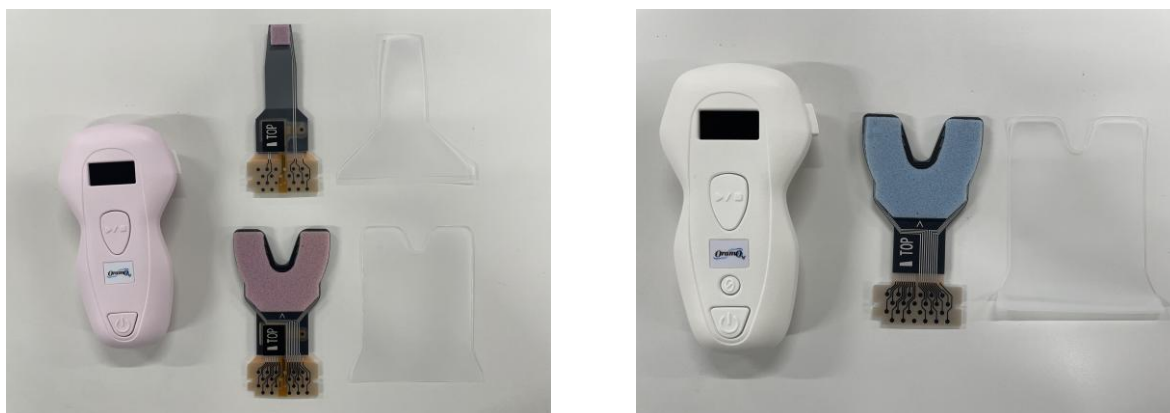


子ども大学にしているま 学習プログラム（咬合力測定）の様子

「子ども大学にしているま」は、明海大学歯学部、城西大学および教育委員会等が連携し、埼玉県坂戸市・毛呂山町の小学生を対象に 2012 年度から開催されています。今年度の明海大学歯学部が企画した学習プログラム「口の機能は健康の指標～自分の口腔機能を測定して健康かどうか知ろう～」において、小学 4～6 年生を対象に口腔機能検査を実施しました。

学童期は、歯の生えかわりや口腔サイズの影響で従来の全歯検査が難しい場合がありますが、「Oramo2」は個歯単位で計測が可能です。また、学童期では咬合バランスの変化が少ないと考えられる第一大臼歯部の測定にあたり、小児や口が大きく開けにくい方にも対応できる I タイプのセンサーを搭載する点が評価され、今回の採用に至りました。

従来モデル「Oramo™-bf^{※2}」は、主に高齢者向けの咬合力測定機器として、大学などの研究機関から歯科診療所など幅広く使用されています。「Oramo2」は、新たに I タイプ（個歯計測）と U タイプ（全歯計測）のセンサーを交換できる設計として開発しました。



新規開発品「Oramo2」(左)と「Oramo-bf」(右)の比較画像

「Oramo2」は、従来モデルの特長である「短時間で簡便に測定可能」「コンパクトな形状で訪問歯科診療・災害時医療にも活用可能」に加え、センサーを交換することで、小児から高齢者まで幅広く測定可能な製品としました。利用者からの「小児や口を大きく開けることが困難な方の咬合力を計測したい」という声に応えた形で誕生し、今後発売を予定しています。

住友理工グループは、経営ビジョン「2029 年 住友理工グループ Vision」で「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」を掲げています。今回の取り組みは、子どもたちが自らの健康を学ぶ機会を提供するとともに、地域教育・医療・産業の連携による新たな価値創造の一例です。今後も、咬合力測定技術を通じて、子どもから高齢者まで幅広い世代の生活の質（QOL）向上に貢献し、安全・快適な暮らしと健康長寿社会の実現を支援してまいります。

<城西大学 子ども大学にしているま>

https://www.josai.ac.jp/lifelong/kodomo_univ/

以 上

※1 医療機器届出番号：23B2X10022000007

※2 医療機器届出番号：23B2X10022000004

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>